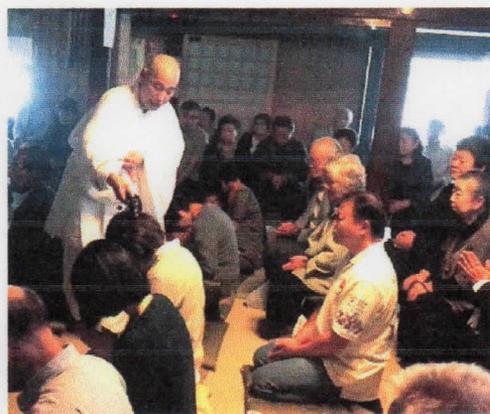


比叡山千日回峰大行満
上原行照大阿闍梨様護摩厳修

不二の祈り

「不二の祈り」は富士山世界文化遺産をお祝いして毎年10月3日、東円寺の富士山鈴原目黄不動尊の御宝前で厳修されている護摩祈禱です。比叡山の千日回峰行者、上原行照大阿闍梨様により盛大に厳修されています。東円寺のお不動様は明治の廃仏毀釈時に、富士山1合目、鈴原社より遷座されました。江戸時代は多くの富士登山の道者達を見守り続けたお不動様でしたが、それから約140年以上の歳月が過ぎ、その存在は忘れられてしまいました。仏縁によって、上原行照大阿闍梨様と深いご縁をいただき、毎年「不二の祈り」を開催できることは、富士山の歴史、また、東円寺に取りましても意味深い法要です。今年も、上原行照大阿闍梨様がご来駕され、護摩を厳修していただけます。お忙しい時期にもかかわらず、お越しいただける真心にお答えするためには、多くの皆様にお参りいただくことではないかと思っています。皆様のご参拝をお願い申し上げます。

※「不二の祈り」祈禱申込書は別紙にてご案内しております。



お盆を間近に控え、月日の経つ早さに、戸惑いを覚える今日この頃です。大暑の候ですが、檀信徒の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。常日頃より皆様の菩提寺、東円寺に対しての暖かいお心遣いやご協力に、衷心より感謝申し上げます。これからもさらなる発展を目指し努力を重ねますのでご支援宜しくお願い申し上げます。

また、この度は、長年の懸案事項でした、東円寺檀信徒会の設立に向かい、寺役員及び檀信徒会設立準備委員の皆様には、お骨折りいただいておりますこと、誠にありがとうございます感謝申し上げます。近隣寺院に伍し、東円寺の更なる発展のためにも、檀信徒会が設立されることを願っております。

東円寺行事予定

- 八月七日 新盆施餓鬼会 午前十時より
- 八月十三日～十六日 お盆
- 八月十六日 新盆精霊流し
- 八月十九日～二十日 諏訪明神大祭
- 九月二十三日 秋彼岸中日
- 九月九時～午後五時 仏参金受付
- 十月三日 不二の祈り 午前十一時より
- 十一月三日 お会式 午前十一時より
- 十二月三十一日 除夜の鐘 午後十一時半より



合掌

東円寺先祖供養団参報告

6月13日(月)～15日(水)恒例の東円寺先祖供養団参に行ってお参りました。今年は、住職・寺庭を含めまして39名で比叡山延暦寺にお参りさせていただきました。延暦寺の阿弥陀堂にて、回向供養をしていただきました。阿弥陀堂に安置されている阿弥陀様はとて大きく、初めてお堂に入られた方はその大きさに驚かれます。例年ですと、比叡山会館の玄関先でバスを降車しますが、今年は大講堂の見学を先にしましたので、東塔の駐車場でバスを降り、大講堂に向かいました。大講堂に向かう道すがら、「国宝根本中堂大改修」の大きな看板と、長い寄付者の銘板が目飛び込んできました。平成28年から約10年の歳月をかけて、国宝の根本中堂ならびに重要文化財の回廊を修復させていただきますが、およそ50億円の浄財を投じる予定だそうです。昨年末、皆様に500円の寄付をご協力いただきました。寄付者の銘板には、1万円以上ご喜捨いただくと永久にお名前が残ります。ある方は、亡くなられた息子さんのお名前でご寄付をしてほしいとお話されていました。お孫さんが大人になられたとき、比叡山に父親の名前を残してあげたいというお考えでした。また、夫婦仲良く比叡山に名前を残したいという方もおられました。東円寺の観音様は造像700年を迎えます。100年、1000年単位の御遠忌にご縁があることは仏様と深い縁があるのだと思います。

先祖供養団参は、比叡山に到着すると、まず、伝教大師様の御廟にお参りさせていただきます。その後、阿弥陀堂で回向法要が終わると、夕食の時間まで各部屋でお茶を飲み旅の疲れを癒します。夕食は肉や魚など生臭いものはお膳に並びません。お酒は少々いただき就寝です。翌朝は、毎朝6時30分から行われているお勤めに参列します。清々しい気持ちで、世界遺産姫路城を見学し、二泊目は淡路島の洲本温泉に宿泊しました。多少ハプニングがありましたが、皆様のご協力のお蔭で、予定通りに洲本温泉に到着しました。最終日は、鳴門の渦潮を淡路島から船に乗り見学しました。思い出深い先祖供養団参でした。ご参加いただいた皆様には、厚く御礼申し上げます。



☆次回団参予定☆

平成29年6月5日(月)～7日(水)

比叡山先祖供養団参

『京都大回り千日回峰行にふれる』旅

多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。

一隅大会

今年6月8日、川崎市教育文化会館に於いて、「一隅を照らす運動 神奈川川崎大会」が催されました。今年は恵心僧都源信(942-1017)1000年ご遠忌にあたり、特別な法要を厳修致しました。恵心僧都とは、日本の浄土教、極楽への教えを確立させ、「往生要集」(おうじょうようしゅう)や「念仏法語」などを著されました。天台宗においても重要な高僧の一人とされます。東円寺の法事で『念仏法語』をお唱えするので皆様もお馴染みかと思います。今回はその「往生要集」の浄土思想から誕生した「二十五三昧」(にじゅうござんまい)といわれる法要を基に15人の僧によって大法要を厳修致しました。念仏を中心とする法要で、普段は唱えない節のお経の為、改めて天台宗の奥深さを感じました。天台宗では「一隅を照らす運動」を各教区で毎年行っています。東円寺では、総代・世話人さんが神奈川教区大会に毎年参加してくださっております。役員さんだけではなくお檀家さんへも天台宗の特色をお伝えできたらなと思います。今年も猛暑の予報が出ております。ご健康に留意しご自愛くださいますよう、お祈り申し上げます。 慈法 記

子育て地藏尊大祭 ～4月24日～



毎年恒例の子育て地藏尊大祭が4月24日(日)に行われました。あいにくの天候にも関わらず、たくさんの方にお参りいただきました。お不動様の護摩壇をお借りして、地藏尊を祀り、御詠歌をお唱えし、お護摩を焚いていただきました。また、オカリナ演奏者の「さとうともし」と、天台宗の女僧であり、落語家の露の団姫さんにお越しいただき、楽しい時間を過ごさせていただきました。お参りいただいた皆様には、熊本大震災の義援金、インド子供基金と東円寺のバザーなど尊い浄財をお預かりしました。心から感謝申し上げます。来年も皆様のお参りをお待ちしております。



～寄付させていただきました～

- ★バザー売上 ￥59,750
(忍野村図書館 ￥49,750 インド子供基金 ￥10,000)
- ★照偶さん募金 ￥30,704
(緊急救援募金 熊本地震)

ご協力ありがとうございました。

八海・新名庄川清掃活動参加者募集

東円寺では、一隅を照らす運動の一環として、毎月8日に忍野八海・新名庄川の清掃活動をしています。清掃活動を続けて、10年目に入りました。今年も毎月8日に清掃・除草活動を行います。天候などで変更する場合は事前に連絡させていただきます。多くの皆様のご理解とご協力をお願いします。

お盆は本堂にお参りしましょう

東円寺は、昔からお盆の期間中(8月7日～16日)本堂に地獄絵図の掛け軸を掛けています。東円寺の地獄絵図は、年号などが無い為に、どのくらい前のものか分かりませんが、かなり古いものです。地獄絵図は、怖いものではなく、人が生きるための戒めとして、作られたものです。是非、お参りください。

～仏参金納入口座のお知らせ～

郵便口座

記号10800 番号6654231
口座名 トウエンジ 又は 東円寺

※キャッシュカードでの振り込みですと、手数料が掛かりません。

山梨中央銀行

忍野支店 口座 普通
121086 東円寺

☆ご詠歌に参加しませんか

3月～12月
第2・第4月曜日
午後2時～3時
※行事によって変更有り。

一隅会会員募集

天台宗には宗祖伝教大師の御教えを实践する一つの組織として、天台宗一隅会(一隅を照らす運動)があります。賛同して下さる会員を募集しています。お気軽にお問い合わせください。



比叡山根本中堂平成大改修浄財寄進報告

比叡山根本中堂の大改修浄財の報告を致します。ご協力ありがとうございました。

浄財金 272,500円也
檀信徒協力者 507名

篤志浄財寄進者

1万円 7名 3万円 1名 5万円 1名

※一万元以上の篤志寄進者は根本中堂の浄財寄進者銘板に氏名を刻まれて永久保存されます。平成34年1月末日まで受け付けておりますので、希望される方は住職にご連絡ください。故人の名前でも受け付けています。

観音堂再建基金寄付者芳名

6月吉日

大寄赴彦殿 1万円

大森 泰殿 10万円

～平成28年6月現在積立額～

24,109,659円也



根本中堂大改修事業に当たってご懇志特別寄付金のご協力をお願い申し上げます。

～寺庭のつばやき～

檀信徒の皆様には、平素より東円寺に対しまして温かなご支援ありがとうございます。東円寺だより春彼岸号から、あっという間に歳月が過ぎました。子育て地藏尊祭や、先祖供養団参などの行事を無事に終わらせていただけましたのは、檀信徒の皆様と、総代・世話人様のご協力のお蔭でございます。心から感謝申し上げます。

天台宗では、平成24年4月より平成34年3月迄の10年に亘り、祖師先徳鑽仰大法会を実施しています。「宗祖伝教大師千二百年大遠忌」、「宗祖伝教大師ご誕生一千二百五十年慶讃」に加えまして、「慈覚大師一千五十年遠忌」、「相応和尚一千百年御遠忌」、「恵心僧都一千年御遠忌」を迎えます。今年、6月10日には、恵心僧都一千年御遠忌御祥当日を迎え、比叡山大講堂において御祥当法要が厳修されました。「恵心僧都」は、東円寺にはなじみ深い方です。ご法事の時に必ずお唱えしている「念仏法語」を説かれた方です。「夫れ一切衆生、三悪道を逃れて人間に生まるること大いなる喜びなり…」と聞くと、聞いたことのある方も多いと思います。この法語は、人に生まれたことの尊さを説かれ、「また妄念はもとより凡夫の地體なり」と、人間凡夫の煩惱の深さを肯定されました。その上で、「信心あさくとも本願深きが故に頼めば必ず往生す。…」と説かれ、阿弥陀仏にすぎり、念仏を唱えることの重要さを示されました。東円寺に嫁いで間もなく、隣保組の法事に招かれました。住職と参列されている方々と一緒に「念仏法語」を唱和したときの衝撃は忘れられません。人間に生まれたことを素直に喜び、人間の煩惱の深さを考えさせられました。学校で学ぶことは出来ない教えです。人間の本質、生きる意味、懺悔し仏にすぎる。とても単純なことですが、胸に深く残りました。この教えによって、多くの高僧が誕生しました。時宗・天台真盛宗・浄土宗・浄土宗西山禅林寺派・浄土真宗本願寺派・真宗大谷派など、恵心僧都は「日本浄土教の祖」と称されています。何気なくお唱えしている「念仏法語」ですが、恵心僧都御遠忌に思いをはせ、じっくりお唱えいただきたいと思います。子育て地藏尊祭では、熊本の義援金、またバザーでは皆様から尊い浄財をお預かりしました。先祖供養団参には37名の方が参加して、先祖供養法要に参列していただきました。秋には、諏訪明神大祭、また、10月3日には、千日回峰行を満行されました上原阿闍梨様が「不二の祈り」のお護摩を厳修してくださいませ。更に、11月3日にはお会式など、大きな行事が控えております。これからも東円寺の更なる発展に精進して参りますのでご支援のほどよろしく願いいたします。